

豊川市子ども読書活動推進計画

【豊川市子ども読書活動推進実施計画】

平成 29 年度～33 年度

(2017)

(2021)



平成 29 年 7 月

(随時更新)

豊川市教育委員会

中央図書館

はじめに

本市の子ども読書活動の推進は、平成28年3月に策定の「豊川市子ども読書活動推進大綱」（以下「大綱」という。）に基づき、「豊川市子ども活動推進実施計画」（以下「実施計画」という。）を随時更新しながら行っています。この実施計画では、大綱に掲げる3つの基本目標を達成するために、体系化された9つの施策を具体的に推進するための個別の取組を掲げています。

第一次計画では、個別の取組についてその内容や課題を掲げてはいましたが、それぞれについてどの程度の活動を目指すのか、具体的に数値化しておらず、進捗状況を客観的に把握することが困難でした。

そこで、今回の実施計画では、それぞれの取組を「いつ」、「どのぐらい」行うのか、可能な限り明示した上で、その開始からの3年間を「集中取組期間」と位置付け、その期間終了後にその取組を評価し、「継続」、「拡充」、「縮小」、「廃止」などの判断を行う仕組みとしています。

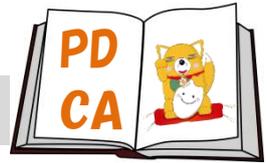
この冊子は、平成28年度の取り組み実績を踏まえ、平成29年度から平成33年度までの5年間を期間（以下「今期」という。）に、今後の取り組みをまとめたものです。



豊川市子ども読書活動推進計画

■■■ 子ども読書推進 実施計画 目次 ■■■

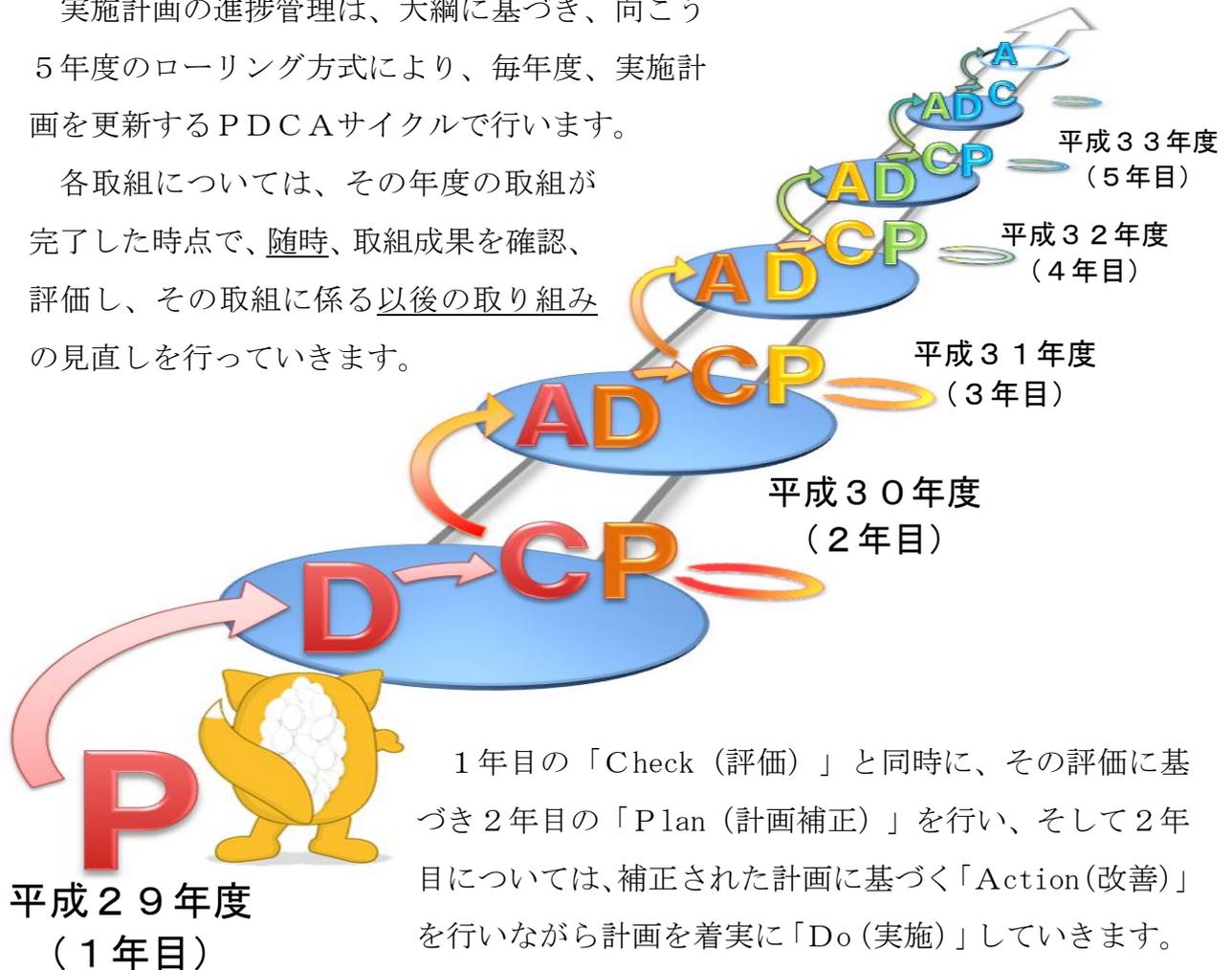
■ 1	進捗管理の仕方	2
■ 2	各取組の評価方法	2
■ 3	進捗状況報告書の作成	3
■ 4	実施計画の見直し（ローリング）	4
■ 5	実施計画の公表	4
■ 6	今期の重点取組	4
■ 7	実施計画進捗管理表（平成29年度～33年度）	5



■ 1 進捗管理の仕方

実施計画の進捗管理は、大綱に基づき、向こう5年度のローリング方式により、毎年度、実施計画を更新するPDCAサイクルで行います。

各取組については、その年度の取組が完了した時点で、随時、取組成果を確認、評価し、その取組に係る以後の取り組みの見直しを行っていきます。



■ 2 各取組の評価方法

各取組は、子ども読書活動の推進を達成することが目的ですが、何をもってその目的が達成されたと判断すべきか明確でないため、具体的に測定可能な「指標」を設定する必要があります。「指標」には、その取組によって得ようと期待する「効果」に関する指標と、その効果を得るための行動について掲げた「活動」指標があります。

本来は、「効果」の指標を毎年度測定し、取組の有効性を評価すべきですが、1つの取組の効果が現れるまでには、ある程度の長期に渡る取組が必要で、単一年度の取組だけで効果を測定することは困難です。

また、今回掲げた複数の取組は、それぞれ異なる効果を目指したものであるというわけではなく、ある1つの効果を上げるという共通した目的を持ったものがほとんどです。

そこで、「効果」の指標については、複数の取組について「共通指標」を設定した上で、5年に1度実施する「子ども読書活動に関するアンケート」などの結果から長期的な視点で判定することとし、各取組については、それぞれについて毎年度の「活動」の指標として定めた行動を、計画に定めたとおりに実施できているかどうかを、毎年度チェックし、計画どおりに進んでいないのであれば、その原因を分析した上で、次年度の計画を適切に修正していくこととします。次回の「子ども読書活動に関するアンケート」の実施は、平成32年度を予定しています。



■ 3 進捗状況報告書の作成

前述のとおり、各取組については年度の終了を待つことなく、その取組の結果が明らかになった時点で逐次、取組結果を集計、反省点や課題などの分析を行い、次回に向けての改善案の検討をし、当該取組の「取組名」や「内容」、「備考」などの記述を修正し、計画の見直しを行い、随時、計画を更新していきます。この更新を四半期ごとにとりまとめて進捗管理を行い、担当職員間での情報共有を図ります。

こうして、当該年度に行う予定だった全ての取組が完了した時点で、全体の進捗状況を総合的に評価した「進捗状況報告書」を作成します。平成28年度についての進捗状況の概要は下表のとおりで、詳細は別紙のとおりです。

【平成28年度 進捗状況報告書 概要】

H28 計画			H28 進捗状況			
内容	件数	実施対象計	取組結果	件数	達成件数	実施率
開始又は実施	4	25	◎(計画を10%以上上回る)	17	30/25	120.0%
継続及び拡充 <small>(検討(継続)を含む)</small>	20		○(ほぼ計画どおり実施)	13		
見直し	1		△(計画を10%以上下回る)	0		
検討又は調整 <small>(時期未到来含む)</small>	26		－(実施時期未到来)	21		
合計	51		合計	51		

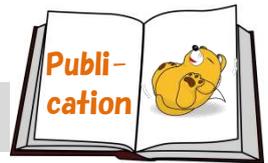
■ 4 実施計画の見直し（ローリング）



作成した「進捗状況報告書」に基づき、より早期に実現可能なものは前倒しや目標を高め、修正するなどの上方修正を行います。しかし、逆に、状況によっては計画の廃止や実施時期の繰り下げを行わなければならない場合もあるため、前述のとおり毎年度行う向こう5年度のローリングにおいて、実施計画そのものを横断的に見直し、今期の「豊川市子ども読書活動推進実施計画」としてまとめることとします。

平成28年度は5つの取組について実施時期の前倒しを行うなど、計画した目標を上回る達成率が実現できたため、今期については計画の廃止や実施時期の繰り下げは行わず、平成27年度及び28年度の実績を勘案した目標値の修正を若干行うこととしました。詳細は「7 実施計画進捗管理表」のとおりです。

■ 5 実施計画等の公表



見直し、作成した「豊川市子ども読書活動推進実施計画」と「進捗状況報告書」については、より多くの方に見ていただき、意見や要望を聞くことができるよう、市中央図書館のホームページに掲載するなどの方法により、公表し、随時更新します。

■ 6 今期の重点取組



今期は、平成28年度に前倒しを行った5つの取組について、引き続き確実に継続できるように、これらを重点取組として位置づけます。

【取組 6】絵本にふれるきっかけとして、乳幼児健康診査の待合室などに絵本を設置

【取組 27】図書館検定の実施

【取組 29】「図書館まつり」の開催

【取組 34】中央図書館エントランス等での児童図書等の特別企画展示の開催

【取組 42】特別支援学校等との連携

実施計画 進捗管理表

(平成29年度～33年度)



進捗管理表の見方

- 【基本目標1】家庭、地域、学校等における取組の推進
- 施策1 家庭における取組の推進
 - 施策2 地域(図書館を含む)における取組の推進
 - 施策3 学校等(幼稚園・保育所を含む)における取組の推進
- 【基本目標2】普及啓発活動の推進
- 施策4 「子ども読書の日」を中心とした普及啓発の推進
 - 施策5 子どもの読書活動に関する情報の収集・提供
 - 施策6 優れた取組の奨励、優良な図書普及
- 【基本目標3】子どもが読書に親しむ機会を提供できる連携・協力体制の整備
- 施策7 家庭、地域、学校等相互の連携・協力の推進
 - 施策8 図書館間等の連携・協力の推進
 - 施策9 子ども読書活動推進体制の整備

※大綱の「施策の体系」に基づき、3つの基本目標と9つの施策に分類しています。

実施計画に掲載する期間は、計画の策定(見直しを含む)年度を基準として、その前年及び次年度以降の5年間の計7年度間とします。
取組のうち、新規に取組を開始するものについては、開始年度を含む当初の3年間で「集中取組期間」と位置付け、その期間が満了した翌年に、その取組の効果等を評価し、継続、拡充、縮小、廃止などの判断を行います。

「関係する課等」
黒丸「●」で始まる課名は、教育委員会所属
白丸「○」で始まる課名は、市長部局の所属

【基本目標1】家庭、地域、学校等における取組の推進

■施策1 家庭における取組の推進

【目指す成果】

重点取組3

		H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33		
共通指標	効果	読み聞かせの頻度【図表27】 園児の「週に1回以上」(%)	目標 実績	48.8	5%増			53.8	—	「うち読」、「ブックスタート」、「乳幼児健診時の普及・啓発」、「読み聞かせ教室事業」などにより実現します。
	効果	子と共に読書する頻度【図表27】 生徒児童の「週に1回以上」(%)	目標 実績	12.2	5%増			17.2	—	

取組名	内容	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	関係する課等
1 学校の読書週間での「うち読」の周知	毎年5月の学校図書主任会に中央図書館司書が出席し、マイブックプロジェクトや団体貸出しの説明と同時にうち読の推進依頼も行い、学校の読書週間できっかけ作りをし、中央図書館のカードを活用するなどの連携を図ることで「うち読」実施家庭を増やす。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 ●学校教育課
			集中取組期間						備考
		調整	開始	実施	実施	評価	評価		5月の図書主任会にて全小中学校に推進依頼を行っています。「うち読」の推進について2月の学年通信で紹介する学校もあります。
指標	活動	「うち読」周知の実施校数(校)	目標 実績	10 36	36	36	36	36	

取組の進捗具合を判断するための「指標」は、計画的に実現すべき活動の量などを目安として定める「活動」指標と、その結果えらるはずの「効果」指標の2つに区別しています。また、実績を分析し、目標値の修正や追加した場合には赤字で表示しています。

各年度の行動計画には、「調整」や「検討」、「実施」、「拡充」、「見直し」、「再検討」など、大まかなその年の活動目標が示しており、その内容に応じたイメージのアイコンを表示しています。「いなりん」の表情の微妙な変化は、着実な進捗を願った気持ちです。

【基本目標1】 家庭、地域、学校等における取組の推進

■施策1 家庭における取組の推進

【目指す成果】			H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	アンケート実施による次回効果測定は、平成32年度を予定。
重点取組3	共通指標	効果	読み聞かせの頻度【図表27】 園児の「週に1回以上」(%)	48.8	5%増			53.8	-	
	効果	子と共に読書する頻度【図表27】 生徒児童の「週に1回以上」(%)	12.2	5%増			17.2	-		
取組名	内容	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	関係する課等	
1	学校の読書週間での「うち読」の周知	毎年5月の学校図書主任会に中央図書館司書が出席し、マイブックプロジェクトや団体貸出しの説明と同時にうち読の推進依頼も行き、学校の読書週間できっかけ作りをし、中央図書館のカードを活用するなどの連携を図ることで「うち読」実施家庭を増やす。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 ●学校教育課 備考 5月の図書主任会にて全小中学校に推進依頼を行っています。「うち読」の推進について学年通信で紹介する学校もあります。
			集中取組期間							
指標	活動	「うち読」周知の実施校数(校)	調整	開始	実施	実施	評価			
	目標			10	36	36	36	36	36	
	実績			36						
2	「うち読」講演会の開催による普及・啓発	全国組織「家読推進プロジェクト」等から講師を派遣してもらい、「うち読」の効果的なやり方に関する講演会を開催し、「うち読」実施家庭を増やす。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 備考 講師料等が必要な場合があるので、初年度に見積もりを取るなどし、必要な予算を確保などの調整も必要に応じて行います。
			集中取組期間							
指標	活動	「うち読」講演会開催回数(回)	検討	開始	実施	実施	評価			
	目標			1	1	1				
	実績									
3	「うち読」ノートの改良、配布方法の見直し	取組開始から年数が経過し、当初ほど「うち読」ノートの配布や活用がされなくなってきたのを改善するため、ノートのデザインの見直し等の改良を行うとともに、中央図書館での配布方法の見直しを行い、「うち読」実施家庭を増やす。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 備考 ホームページから自由に「うち読」ノートをダウンロードし印刷できるようにしたり、イベント等の会場など中央図書館以外での配布についても検討を行っています。
			集中取組期間							
指標	活動	「うち読」ノートのデザイン等見直し(回)	検討	開始	再検討	見直し	評価			
	目標			1		1				
	実績									
4	4か月児健康診査の待ち時間を利用した「ブックスタート」事業の実施(継続)	健康診査の順番待ちの時間を利用して、ボランティアによる絵本の読み聞かせや家庭での読み聞かせへのアドバイスを行うとともに、「ブックスタートパック」(2冊の絵本から1冊を選択)を配布し、読書活動のきっかけづくりに役立ててもらおう。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	○子育て支援課 ○保健センター 備考 回数や配布人数は、4か月児健康診査の受診状況によるため、指標を増加させるような目標を立てるのは困難ですが、確実に継続していく必要があるため実施計画に掲載します。
			実施中							
指標	活動	実施回数(回)	実施中	継続	継続	継続	継続	継続	継続	
	目標			36	36	36	36	36	36	
	実績	36	36						36	
指標	活動	「ブックスタートパック」配布人数(人)	実施中	継続	継続	継続	継続	継続	継続	
	目標			1,650	1,650	1,650	1,650	1,650	1,650	
	実績	1,622	1,637						1,650	
5	乳幼児の保護者向け講座「絵本で子育て楽しんでみませんか」の開催(継続)	ブックスタートの次のステップとして、4か月から12か月までの乳幼児とその保護者を対象とした、絵本を使って子どもとのコミュニケーションを図るための講座を開催し、家庭での読書活動のきっかけづくりに役立ててもらおう。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 備考 第一次計画以前から実施している継続事業です。対象が12か月までの乳幼児とその保護者に限定されているため、当面、現状の維持につとめます。
			実施中							
指標	活動	実施回数(セット) ※1セットあたり3回構成の講座	実施中	継続	継続	継続	継続	継続	継続	
	目標			2	2	2	2	2	2	
	実績			2					2	
指標	活動	講座への参加者数(組) ※乳幼児とその保護者の組参加	実施中	継続	継続	継続	継続	継続	継続	
	目標			50	50	50	50	50	50	
	実績			49					50	

■施策2 地域(図書館を含む)における取組の推進

【目指す成果】		H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	アンケート実施による次回効果測定は、平成32年度を予定。また、マンガ・ラノベコーナー(貸出不可)の閲覧の効果をどう評価するか要検討)	
重点取組4	共通指標 効果	ティーンズ図書の年間貸出冊数(冊)	目標	5%増			12,426			
重点取組1	共通指標 効果	読書好きな子どもの割合【図表1】 児童生徒の「好き」以上(%)	目標	5%増			62.7			
			実績	57.7						
取組名	内容	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	関係する課等	
6	絵本にふれるきっかけとして、乳幼児健康診査の待合室などに絵本を設置	1歳6か月児と3歳児を対象に行われる乳幼児健康診査の待合室などに、中央図書館からの団体貸出扱いなどを利用して絵本コーナーを設置し、子どもと保護者が絵本にふれる機会を提供する。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	○保健センター ●中央図書館 備考 当初計画では、H29からの開始予定でしたが、H28年度に1年前倒しで、保健センターに「ふれあいえほん」として配置。
			集中取組期間							
			開始	拡充	拡充	評価	継続	継続		
	指標	活動	設置した絵本の数(冊)	目標	0	35	40	45	50	50
			実績	—	30					
7	2歳児歯科健康診査時の待ち時間に、ボランティアによる「絵本の読み聞かせ」などを実施	2歳児歯科健康診査の会場で、受診までの待ち時間を利用して、ボランティア(子育てネットワーク)により、「絵本の読み聞かせ」や「手遊び」などを行い、読書活動の普及・啓発を図る。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	○子ども課 ○保健センター 備考 回数や参加人数は、歯科健康診査の受診状況にため、指標を増加させるような目標を立てるのは困難ですが、確実に継続していく必要があるため実施計画に掲載しています。
			実施中	継続	継続	継続	継続	継続	継続	
	指標	活動	実施回数(回)	目標	36	36	36	36	36	36
			実績	36	36					
	活動	参加人数(人)	目標	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
			実績	1,441	1,389					
8	公民館や児童館で「読み聞かせ教室」を開催	子どもたちが身近に本を楽しめるよう、地域の読み聞かせボランティアが、乳幼児から小学生までとその保護者を対象に、公民館や児童館などで、「絵本の読み聞かせ」や「紙芝居」、「エプロンシアター」などを行う「読み聞かせ教室」を開催する。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	○子育て支援課 備考 この取り組みの活動指標の対象は「読み聞かせ教室」のみです。児童館での「読み聞かせ」については、基本目標3・施策7の取組番号37番の指標の対象として別掲しています。
			実施中	継続	継続	継続	継続	継続	継続	
	指標	活動	公民館での読み聞かせ教室開催回数(回)	目標	56	56	56	56	56	56
			実績	56	55					
	活動	公民館での読み聞かせ教室参加人数(人)	目標	650	650	650	650	650	650	650
			実績	614	739					
9	ティーンズコーナーの充実	中学生、高校生の声を反映し、まんがやライトノベルなどを含むティーンズ向け図書の冊数や種類を増やすとともに、レイアウトやPOPなどの工夫を凝らし、ティーンズ図書の貸出冊数を増加させる。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 備考 H28年の図書館システムリニューアルに合わせ、中央図書館2F通路に、「マンガ・ラノベコーナー」(貸出不可・閲覧のみ。約1500冊)を新設しました。
			実施中	継続	継続	継続	継続	継続	継続	
	指標	活動	ティーンズ図書の排架冊数(冊)	目標	6,000	7,600	7,600	7,600	7,600	7,600
			実績	5,739	7,614					
10	ティーンズ向け図書の人気作家を招いた講演会等の開催	ティーンズコーナーのPRと、中学生、高校生への読書啓発のために、まんがやライトノベルを含む良質なティーンズ向け図書の人気作家を招いた講演会を開催し、中学生や高校生の来館者を増やす。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 備考 どのような作家を呼ぶべきかを十分に検討するとともに、必要な予算を措置し、当面は、年1回程度のペースでの開催に向けた検討・調整を行います。
			検討	検討	調整	開始	実施	実施	評価	
	指標	活動	実施回数(回)	目標	—	—	1	1	1	1
			実績	—	—					
11	小学生から高校生までの総合学習や調べ学習に必要な資料の収集と提供	近年、高校生だけでなく、小学生や中学生が学習を目的として図書館の閲覧室を利用するケースが増えつつあることを踏まえ、学校と連携して、総合学習や調べ学習に必要な資料を備え、積極的に図書館を利用してもらう。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 ●学校教育課 備考 H28年度の受け入れの結果、学習用資料の蔵書数は、児童向けが合計約950冊、一般向けは合計約35,800冊です。
			実施中	継続	継続	継続	継続	継続	継続	
	指標	活動	児童向け参考資料・地域資料の受入冊数(冊)	目標	50	50	50	50	50	50
			実績	18	48					
	活動	一般(高校生含む)向け参考資料・地域資料の受入冊数(冊)	目標	500	500	500	500	500	500	500
			実績	630	562					
12	児童向け点字図書や音声図書の充実	障害のある子どもたちに利用しやすい点字図書や音声図書、マルチメディア図書などを積極的に収集するとともに、それらの図書を利用しやすくするために必要な合理的配慮を行う。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 ●学校教育課 備考 障害や病気、ケガなどの様々な事情で図書館への来館が困難な子どもたちが、家庭や病院などに居たまま読書ができるよう、H28年2月に電子図書館サービスを開始。
			実施中	継続	継続	継続	継続	継続	継続	
	指標	活動	児童向け点字図書数(冊) ※LLブックを含む。	目標	5	5	5	5	5	5
			実績	24	25					
	活動	児童向け音声図書数(冊) ※電子書籍を含む。	目標	22	24	26	28	30	30	30
			実績	20	66					

取組名	内容	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	関係する課等		
13 外国語図書の収集と排架	市内在住の外国語を日常語とする児童生徒や帰国児童・生徒のため、外国語の絵本や児童書の充実を図る。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 備考 今後、英文多読コーナーの活用などについても検討し、充実を図ります。 ※前年の受入冊数と排架冊数の合計が、対象年度の排架冊数と一致しないのは、老朽本等の除籍があるため。		
		実施中	継続	継続	継続	継続	継続	継続			
		活動	外国語図書の受入冊数(冊)	目標	60	140	140	140		140	140
		活動	外国語図書の排架冊数(冊)	目標	5,260	7,800	7,900	8,000		8,100	8,200
指標	実績	147	142								
指標	実績	7,601	7,739								
14 子どもの読書活動に関する講演会の実施	子どもの読書に関する保護者や図書館職員、学校関係者の理解を深め、子どもの読書活動の推進を図るとともに、子どもに対しては本を読む楽しさや意義を伝え、豊かな心を育ててもらう。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 備考 内容や講師について調整し、H30年開始に向けて、講師謝礼等の予算化を図ります。		
		実施中	継続	調整	開始	実施	実施	評価			
		活動	実施回数(回)	目標			1	1		1	1
		指標	実績	—	—						
15 読み聞かせボランティア等養成講座の開催	読み聞かせボランティアの養成講座を開くとともに、その読み聞かせ技術を向上していただくためのスキルアップ講習会を開催し、読み聞かせボランティアの人材の充実を図る。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 備考 新規を対象の養成講座と、養成講座修了者対象のスキルアップ講座は、1年置きに年1回ずつ交互に開催しています。※H27は講師の都合により開催できず、実績なし。		
		実施中	継続	継続	継続	継続	継続	継続			
		活動	実施回数(回)	目標	1	1	1	1		1	1
		指標	実績	—	1						
活動	参加人数(人)	目標	46	46	46	46	46	46	46		
指標	実績	—	46								
16 子ども向け手作り絵本講座の開催	子どもが自ら絵本を手作りすることで、より絵本への関心や愛着を深めてもらうことを目的として、「手作り絵本講座」を開催する。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 備考 4月、12月の2回開催で、合計定員50人のところ、目標を55人に設定していますが、4月のワークショップは、兄弟等での参加などにより、実質は定員を超える参加があり、定員の見直しを検討中です。		
		実施中	継続	継続	継続	継続	継続	継続			
		活動	実施回数(回)	目標	2	2	2	2		2	2
		指標	実績	2	2						
活動	参加人数(人)	目標	55	55	55	55	55	55	55		
指標	実績	51	52								
17 先進自治体図書館の視察や子ども読書に関する研修への参加による児童図書担当職員の育成	過去に子ども読書活動について文部科学大臣の表彰を受けた図書館や特色ある子ども読書活動を行う先進自治体図書館を視察したり、愛知県図書館などが主催する子ども読書に関する研修会へ積極的に参加し、児童図書担当職員のスキルアップを図る。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 備考 児童書担当職員としては司書が1名のみで、研修などによる育成の対象となる若い司書職員が近年配置されていないことから、同一の司書が毎年類似した研修などを受けているため、後進の育成が課題です。		
		実施中	継続	継続	継続	継続	継続	継続			
		活動	先進自治体図書館の視察(回)	目標	1	1	1	1		1	1
		指標	実績	3	3						
活動	子ども読書に関する研修会参加回数(回)	目標	2	2	2	2	2	2	2		
指標	実績	2	5								
18 「学校の日」の代休の休校日の月曜日に市の図書館を児童・生徒向けに開放	「学校の日」は土曜日に行われるため、翌週月曜日が代わりに休みとなり、子どもたちが長時間図書館を利用できる絶好の機会であることから、図書館を児童・生徒向けに開放する。(全市共通の「学校の日」は、5月と1月の各第3土曜日)	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 ●学校教育課 備考 H27から開館日を増やしたばかりで、さらなる開館日の増加は直ぐには困難なため長期的な視野で検討します。		
		実施中	継続	調整	開始	実施					
		活動	実施回数(回)	目標				1		1	
		指標	実績	—	—						
19 「ブックトーク」の実施	子どもたちに本や読書の楽しさを知ってもらうために、あるテーマにそって何冊かのさまざまなジャンルの本を順序だてて紹介する「ブックトーク」を開催する。(希望を募り、子どもたち自身による「ブックトーク」を開催することも検討する。)	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 ●学校教育課 備考 H28の秋の図書館まつりにて、ボランティアによる「ブックトーク」や「ビブリオトーク」を開催。引き続き職員による開催を目標とします。		
		実施中	継続	調整	開始	実施					
		活動	実施回数(回)	目標				1		1	
		指標	実績	—	(2)※						
20 図書館ボランティアによる「おはなし会」の実施	絵本で子育てを楽しんでもらえるよう、図書館ボランティアによる定例の「絵本の読み聞かせ」や「紙芝居」、「エプロンシアター」などの各種講座のほか、読書週間や図書館まつりなど様々な機会に「おはなし会」を開催する。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 備考 非常に好評で、取組団体、参加人数ともに非常に多く盛況なイベントですが、会場のキャパシティやボランティア団体の都合等もあるため、当面は実績を勘案した現状維持を目標とします。		
		実施中	継続	継続	継続	継続	継続	継続			
		活動	合計実施回数(回)	目標	150	200	200	200		200	200
		指標	実績	189	208						
活動	合計参加人数(人)	目標	5,000	5,200	5,200	5,200	5,200	5,200			
指標	実績	4,930	5,167								

■施策3 学校等(幼稚園・保育所を含む)における取組の推進

【目指す成果】			H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	※「不読率」とは、アンケートで「ほとんど本を読まない」と回答した児童・生徒又は保護者から見たあまり本を読んでいない園児の割合をいいます。 アンケート実施による次回効果測定は、平成32年度を予定。
共通指標	効果	不読率の減少【図表2】 小学4～6年(%)	目標					4.7	-	
	実績		14.7	10%減						
	効果	不読率の減少【図表2】 中学生(%)	目標					17.4	-	
	実績		22.4	5%減						
	効果	不読率の減少【図表2】 高校生(%)	目標					43.3	-	
実績		46.3	3%減							
効果	不読率の減少【図表25】 保護者から見た園児(%)	目標					24.4	-		
実績		29.4	5%減							
効果	不読率の減少【図表25】 保護者から見た小学4～6年(%)	目標					40.3	-		
実績		50.3	10%減							

取組名	内容	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	関係する課等
21	マイブックプロジェクトの実施	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 ●学校教育課 備考 当初は実施後3年で廃止を含めた見直しを行うものとされていたが、継続を望む声が強いため、今後も継続していきます。
		実施中	継続	継続	継続	継続	継続	継続	
指標	活動	生徒参加率(%)	目標	96	96	97	97	98	98
			実績	94.1	96.1				
22	朝読の推進	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 ●学校教育課 備考 基礎学力向上のために、朝の時間をドリル学習に利用する学校もあるため、どのように朝読を推進するかの継続的な検討が必要です。
		実施中	継続	継続	継続	継続	継続	継続	
指標	活動	朝読実施校数(校)	目標	36	36	36	36	36	36
			実績	36	36				
23	保育園へ、子ども用の図書や紙芝居等を貸し出す「おやこ文庫」の実施	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 ○子ども課 備考 保育園へのPR強化や、幼稚園も対象とする取組をH28年度に行い、既に実績がH32年度の目標を超えたため、「拡充」から「継続」に変更し、目標を当面、現状維持とします。
		実施中	拡充	継続	継続	継続	継続	継続	
指標	活動	保育園等へのPR回数(回)	目標	2	2	2	2	2	2
			実績	1	2				
指標	活動	対象保育園数(園)	目標	25	36	36	36	36	36
			実績	32	36				
24	学校図書館の利用を高めるための協議の場の設置	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 ●学校教育課 備考 学校現場の事情もあるため、容易には延長等ができないと思われるため、関係機関で十分に協議を行います。
		調整	実施	実施	実施	評価	継続		
指標	活動	協議会の開催回数(回)	目標	1	1	1			
			実績	-	-				
25	小中学校全校の「学校図書館図書標準」充足率100%以上を実現	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 ●学校教育課 備考 除籍対象の古書を廃棄しなければ充足率は高められますが、子どもたちが使いやすい学校図書館とするため、除籍を適正に行ったうえで、図書の充実を図る必要があります。
		調整	実施	実施	実施	評価	継続		
指標	活動	充足率100%以上の学校の割合(%)	目標	40	50	60	70	80	
			実績	-	30.6				
指標	活動	未廃棄の除籍対象図書数(冊)	目標	-	-	-	-	-	
			実績	-	-				
26	小・中・高の各学校の課外授業やカリキュラムの一つとして、市の図書館の見学会を実施	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 ●学校教育課 備考 実績値には、プラネタリウム見学の際の図書館見学が含まれていませんので、実際の見学校数や見学生徒数は、目標を大きく上回っています。今後、集計方法の見直しを図ります。
		実施中	継続	継続	調整	調整	拡充	充実	
指標	活動	実施校数(校)	目標	5	5	5	5	10	10
			実績	4	4				
指標	活動	参加人数(人)	目標	120	130	140	150	200	200
			実績	191	160				

【基本目標2】普及啓発活動の推進

■施策4 「子ども読書の日」を中心とした普及啓発の推進

【目指す成果】			H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	普及啓発を目的とするため、貸出冊数ではなく、来館者数や利用者を効果指標に設定します。
共通指標	効果	市の図書館来館者数(人)	目標	578,000	583,500	589,000	594,500	600,000	600,000	
			実績	637,974	648,322					
共通指標	効果	市の図書館児童利用者数(人)	目標	92,000	94,000	96,000	98,000	100,000	100,000	100,000
			実績	96,704	95,111					

取組名	内容	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	関係する課等
27 図書館検定の実施	子どもたちに図書館や読書への興味や関心を抱いてもらい、図書館への来館のきっかけとなるよう、図書館でのマナーや図書に関する知識を設問とした「図書館検定」を実施する。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 備考 参加者に飽きられないよう、隔年で、実施方法や参加賞などの見直しをします。また、過去の問題にホームページ上で自由に挑戦できるよう検討します。
		実施中	改善	見直し	改善	評価	継続	継続	
指標	活動	参加者数(人)	目標	600	620	640	660	680	700
			実績	580	670				
28 読書週間等の行事の充実を図るため「まんが、ライトノベル、アニメデー」を開催	4月23日の子ども読書の日を中心とした春の読書週間や10月27日の文字・活字文化の日を中心とした秋の読書週間に、子ども参加型のイベントとして、まんがやライトノベル、アニメに関するイベントを開催する。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 備考 イベントの内容について検討を行い、その後その実施に向けた調整を行い、必要な経費の予算化などを図ります。
		検討	検討	調整	開始	実施	実施	評価	
指標	活動	開催回数(回)	目標		1	1	1		
			実績	—	—				
29 「図書館まつり」の開催	これまで読書週間などを中心として複数の日に分散して行っていた各種関連イベントを、「図書館まつり」として特定の日又は期間に集約して、様々なイベントを同時に楽しむことができるようにし、相乗効果で読書への関心を高める。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 備考 当初、H30年度からの開催を予定していましたが、H28年5月のおいでん祭に合わせ試行した結果を踏まえH28年度以降、毎年、春と秋の2回の図書館まつり実施を行うよう、計画を2年前倒しました。
		検討	開始	実施	実施	評価	継続	継続	
指標	活動	開催回数(回)	目標	0	2	2	2	2	2
			実績	—	2				
指標	活動	内包する関連イベント数(種)	目標	0	15	15	15	15	15
			実績	—	19				

■施策5 子どもの読書活動に関する情報の収集・提供

【目指す成果】			H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	アンケート実施による次回効果測定は、平成32年度を予定。
指標	効果	ボランティア講座認知度【図表36】「知らなかった」の割合(%)	目標					61.5	61.5	
			実績	71.5	10%減					

取組名	内容	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	関係する課等
30 市図書館のホームページに子ども読書活動の関連事業や実施計画の取組状況などを掲載する専用ページを設置	「読み聞かせボランティア講座」の開催情報や、この実施計画に掲載の各種取組とその進捗情報、おすすめ図書、各種ボランティアの活動状況など、子ども読書活動に関連する情報を集約し、保護者等へ提供する。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 備考 現時点でも、講座やイベント情報は個別にHPに掲載しているが、集約して、目立ちやすいポータルサイトを構築します。
		調整	開始	充実	充実	評価	継続		
指標	活動	掲載コンテンツ数(件)	目標		10	15	20	25	
			実績	—	—				
31 子ども読書関連活動を行うボランティアの情報を収集し、生涯学習情報システム「学びネットあいち」へ情報提供	読み聞かせボランティアや図書館登録団体などの要望の有無をリサーチした上で、ボランティアや団体が主催する講座や催しなどの情報の周知について、「学びネットあいち」への情報提供(掲載依頼)を代行する。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 備考 まず、いくつかの団体に希望の有無を確認し、その後すべての関係団体等に周知を行った上で実施します。
		検討	調整	周知	開始	実施	実施	評価	
指標	活動	情報提供件数(件)	目標		5	10	15		
			実績	—	—				
32 市生涯学習情報サイト「まなびネットとよかわ」に中央図書館や分館での関連ボランティアや団体の情報を掲載	生涯学習課が管理する「まなびネットとよかわ」に、中央図書館や分館で開催される読み聞かせ事業やボランティア養成講座、図書館登録団体の活動情報なども掲載してもらうように、生涯学習課と調整する。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 ●生涯学習課 備考 システム改修等が必要になる場合もあるため、長期的な視野で調整を行います。
		検討	検討	調整	調整	開始	実施		
指標	活動	情報提供件数(件)	目標				10	10	
			実績	—	—				
33 外国人の保護者への市の図書館のPR	学校へ通っている子どもは日本語を話せる子がほとんどだが、その保護者は母国語しか話せないケースが多い。子どもと図書館へ来館する機会を増やすため、子ども連れの外国人利用者を増やすことを目的として外国語の本の所蔵をPRする。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 ○市民協働国際課 備考 どの程度効果があるかを関係機関と協議し、対象者の意見なども踏まえて、実施や継続するかどうかを決定します。
		検討	検討	調整	開始	実施	実施	評価	
指標	活動	外国人保護者へのPR回数(回)	目標		1	1	1	1	
			実績	—	—				

■施策6 優れた取組の奨励、優良な図書の普及

【目指す成果】			H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	企画展示などで紹介した図書が、実際に子どもたちに借りられることを目指して指標を設定します。
共通指標	効果	市の図書館児童利用者数(人)	目標	92,000	94,000	96,000	98,000	100,000	100,000	
			実績	96,704	95,111					
共通指標	効果	市の図書館児童図書貸出数(冊)	目標	398,000	398,500	399,000	399,500	400,000	400,000	
			実績	432,833	431,389					

取組名	内容	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	関係する課等									
34 中央図書館エントランス等での児童図書等の特別企画展示の開催(※H29年度以降は、エントランス以外や分館も対象)	子どもたちが読書に興味を持つきっかけづくりに、日本絵本賞をはじめとする、前年度の児童図書に関する各種受賞作品や、市民団体の手作り絵本、子どもたちの興味をひく仕掛け絵本などを展示する。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 備考 当初、中央図書館エントランス限定でしたが、総合カウンター前や児童コーナー、各分館での開催実績もあるため、H29以降は対象や目標を修正します。									
																		
		実施中	改善	継続	継続	継続	継続	継続										
指標	活動	企画展示開催回数(回)	目標	3	30	30	30	30	実績	3	4							
35 長年活躍されている読み聞かせボランティアや子ども読書に関連した優れた活動団体の表彰等の奨励	子ども読書活動の推進に貢献しているボランティアや団体の活動を奨励するため、文部科学大臣表彰の対象として推薦したり、市図書館独自の表彰を行うなどし、さらなる子ども読書活動の推進を図る。	前年	★	1年目	集中取組期間			5年目	●中央図書館 備考 併せて、国の選考基準を満たすボランティアや団体などの育成に必要な取組についても検討、調整のうえ実施します。									
																		
		検討	調整	周知	開始	実施	実施	評価										
指標	活動	表彰又は推薦の対象数(件)	目標	-	-	1	1	1	実績	-	-							
36 児童・生徒に優良な本に関する情報を提供するため、各年齢層別の「おすすめの本紹介リーフレット」等を作成、配布	市の図書館司書や保護者、大学生などが児童・生徒にすすめる本や、高校生から小・中学生、児童・生徒同士が互いにすすめ合う本などをリーフレットや冊子にまとめ、市の図書館などで配布する。	前年	★	1年目	集中取組期間			5年目	●中央図書館 備考 現在、「うち読のおすすめ本」や「子どもの日読書展」などで期間を区切ったリーフレットの配布を実施していますが、本取組の対象は通年での実施です。									
																		
		検討	調整	周知	開始	実施	実施	評価										
指標	活動	おすすめ本リーフレット発行数(回)	目標	-	-	1	1	1	実績	-	-							

【基本目標3】子どもが読書に親しむ機会を提供できる連携・協力体制の整備

■施策7 家庭、地域、学校等相互の連携・協力の推進

取組名	内容	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	関係する課等
37 児童館・児童クラブ・公民館・市民館等への団体貸出・読み聞かせの実施	子どもの身近な場所における読書環境を整備するため、学校以外の子どもが多く集まる施設に図書の出し入れを行い、出来るだけ市内の多くの場所で読書ができるようにする。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 ○子ども課 備考 ※過去の実績把握及び目標値の設定が誤っていたので、H29以降の目標値を実績値を元に再設定(当面は現状維持)。
		実施中	継続	継続	継続	継続	継続	継続	
指標	活動 読み聞かせ参加人数(人)	目標		650	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500
		実績	3,138	3,825					
38 図書館等利用案内の作成・配布	子ども向けの図書館利用案内を作成し、新着本や推薦図書の紹介、イベントの開催などの情報を保育園や学校へ配布するとともに、市図書館ホームページに掲載する。	0.3	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 備考 従来、毎月1回の発行のほか夏休み直前に特別号を1回の計13回だったのを、H28年の秋以降は、図書館まつりの際も都度、発行としました。
		実施中	検討	改善	見直し	改善	見直し	改善	
指標	活動 子ども向け図書館だより発行回数(回)	目標		13	15	15	15	15	15
		実績	13	14					
39 中学校・高校職場体験学習の実施	図書館司書の業務と、公共図書館運営への理解と関心をもってもらうために、中学生又は高校生を対象とした体験学習の受け入れを実施する。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 備考 生徒だけでなく、学校の教職員や企業などの社員からも職場体験研修の希望があれば受け入れています。
		実施中	継続	継続	継続	継続	継続	継続	
指標	活動 職場体験参加人数(人)	目標		25	25	25	25	25	25
		実績	22	24					
40 学校と市図書館双方の図書ボランティア及び読み聞かせボランティアの交流、連携	各学校と中央図書館等の図書ボランティアや読み聞かせボランティアの交流や連携を行い、ノウハウの共有や相互のスキルアップを図る。	前年	★	1年目	集中取組期間			5年目	●中央図書館 ●学校教育課 備考 各ボランティアや団体との調整が両課で必要となるので、まず、どのように交流や連携を行うのかを両課で協議します。
		検討	検討	調整	開始	実施	実施	評価	
指標	活動 交流、連携方法の検討会議開催回数(回)	目標			1	1	1	1	
		実績	-	-					
41 市の図書館に各学校の児童・生徒を貸切バスで招く図書館体験会を開催	現在、中央図書館や各分館の近くに位置する学校では、各学校の判断により徒歩による図書館見学会を行っているが、距離の離れた学校では実施が困難なため、市の図書館が貸切バスを用意して児童・生徒を招く図書館体験会を開催する。	前年	★	1年目	集中取組期間			5年目	●中央図書館 ●学校教育課 備考 学校現場の都合もあるため、学校教育課の担当者と協議をしながら、実施方法等を検討・調整します。
		検討	調整	調整	開始	実施	実施	評価	
指標	活動 実施学校数(校)	目標			5	5	5	5	
		実績	-	-					
42 特別支援学校等との連携	障害のある子どもを含む全ての子どもが、読書に親しみ、読書好きになるためのきっかけづくりとして、市内外の特別支援学校等と連携を図り、できるだけ多くの子どもたちに図書館サービスを体験してもらう。	前年	★	1年目	集中取組期間			5年目	●中央図書館 備考 当初はH29年からの開始を計画していましたが、調整の結果、H28年度に前倒して実施することができました。目標や取組期間の拡大については、集中取組期間の状況を見て今後判断します。
			開始	実施	実施	評価			
指標	活動 連携実施校数(校)	目標		0	1	1	1		
		実績	-	2					
指標	活動 参加児童・生徒数(人)	目標		0	25	25	25		
		実績	-	65					
43 地域の文庫活動の活発化	子どもたちの周りに常に本がある環境をつくるため、市内の地域文庫活動を掘り起し、市図書館ホームページなどで周知を図り、地域文庫活動を活発にする。	前年	★	1年目	2年目	3年目	集中取組期間		●中央図書館 備考 ※H28年度に、世賜堂書店(御油町)に併設されている「本のひろば」を視察し、報道機関に情報提供したところ、中日新聞に取り上げられました。
		検討	検討	調査	調査	調整	開始	実施	
指標	活動 地域文庫紹介件数(件)	目標					1	1	
		実績	-	(1)※					

■施策8 図書館間等の連携・協力の推進

取組名	内容	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	関係する課等	
44 学校図書館のネットワーク化に向けて、関係課の協議の場を設ける	学校図書館の図書について、ネットワーク化を図ることで、自校の学校図書館だけでなく、他校や市の図書館まで含めた地域全体の蔵書を対象とした検索や、図書の共同利用を可能とするための協議の場を設ける(市の図書館については、以前からインターネット上で誰でも検索可能。)	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 ●庶務課 ●学校教育課 備考 第一次計画では「ネットワーク化」を取組としていましたが、まず、関係課協議から始めます。	
		集中取組期間								
		検討	調整	開始	実施	実施	評価			
指標	活動	ネットワーク化検討協議の開催回数(回)	目標		1	1	1			
		実績	—	—						
45 市の図書館司書と司書教諭、巡回司書、との連携、情報交換	学校巡回司書ミーティングや図書主任会などの場を利用して、中央図書館の司書と学校の司書教諭、巡回司書が、子どもの読書活動の推進に関する情報交換や新着本、推薦図書などの情報提供などを行う。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 ●学校教育課 備考 市の司書教諭や巡回司書との情報交換を随時実施。市内高等学校の司書とも情報交換の場を持ち、連携を図っています。	
		集中取組期間								
		実施中	継続	継続	継続	継続	継続	継続		
指標	活動	情報交換等実施回数(回)	目標	2	2	2	2	2		
		実績	2	2						
46 学校図書館における図書委員育成のための取組を協議する場の設置	学校図書館の活用方法を、子どもたちが自身が提案し、授業や調べ物に積極的に活用できるようにするため、その提案を中心に立って行う図書委員の育成を図るために、関係する機関での協議の場を設ける。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 ●学校教育課 備考 この協議により、具体的な図書委員の育成施策を決定し次第、この取組をその施策に置き換えます。	
		集中取組期間								
		調整	実施	実施	実施	評価				
指標	活動	協議会の開催回数(回)	目標		1	1	1			
		実績	—	—						
47 学校司書、司書教諭、巡回司書の適正配置計画の策定のための協議の場の設置	学校図書館の運営の改善及び向上を図り、利用の一層の促進に資するため、専任の学校司書を置くことを定めたH26改正の学校図書館法第6条に基づき、計画的に適正な配置を行うため、学校教育課と中央図書館との協議の場を設ける。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 ●学校教育課 備考 他の協議事項と合わせて、中央図書館司書と学校教育課の担当で検討中です。	
		集中取組期間								
		調整	開始	実施	実施	評価				
指標	活動	学校司書等の適正配置計画策定協議開催数(回)	目標	1	1	1				
		実績	—	1						
48 中央図書館から学校への団体貸出のセット内容を見直す協議の場の設置	第一次計画に基づき継続中の、中央図書館から各学校への団体貸出用の図書セットについて、教科書の更新等に伴う内容変更に対応するため、中央図書館司書と学校の主任会との協議の場を設ける。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 ●学校教育課 備考 H28年度は、協議の場を設けただけでなく、協議の結果に基づき学校への団体貸出セットの内容を実際に見直しました。	
		集中取組期間								
		調整	開始	実施	実施	評価				
指標	活動	団体セット内容見直し協議の開催数(回)	目標	1	1	1				
		実績	—	1						
49 「読書週間」等について、中央図書館のイベント情報や各学校での取り組みなどを相互に紹介し合う啓発活動を実施	現在は、それぞれ単独で実施している読書週間のイベントや取組について、互いに情報交換をすることで、読書啓発の効果をより高める。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 ●学校教育課 備考 学校教育課の担当者、図書館まつりなどの際に各校の取り組みの紹介について実施したらどうかなどについて協議し、実施に向けて検討中です。	
		集中取組期間								
		検討	検討	調整	開始	実施	実施	評価		
指標	活動	学校での中央図書館イベント紹介(回)	目標		1	1	1			
		実績	—	—						
指標	活動	中央図書館での学校取組紹介数(校)	目標		1	2	4			
		実績	—	—						

■施策9 子ども読書活動推進体制の整備

取組名		内容	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	関係する課等
50	子ども読書に関するアンケートの実施	実施計画の取組の効果等を測定するため、当面の間、5年に1回の頻度で、市内の小・中学校及び高校から数校ずつを選び「子ども読書活動に関するアンケート」を実施するとともに、保育園児や小学生の保護者についても同様のアンケートを行う。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 ●学校教育課
	指標	活動	アンケート実施回数(回)	目標	実績					備考 アンケートの内容や頻度、対象者などについては、今後、進捗管理に合わせて見直しを行います。
			実施					実施		
			1	—				1		
51	実施計画の進捗管理	向こう5年度のローリング方式により、この実施計画に掲載の各取組について、毎年、前年度の進捗状況を評価するとともに、必要に応じて計画を見直し、各取組の実効性を高める。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館
	資料	活動	進捗管理の実施回数(回)	目標	実績					備考 取組の実施に合わせ随時進捗管理をしていますが、H28年度は四半期ごとに進捗状況を取りまとめ、図書館職員内での情報の共有化を図りました。
			—	1	1	1	1	1	1	
				4						